

(様式第1号)

市民との意見交換会実施報告書

開催日時	令和2年10月27日(火) 13時30分～15時30分			開催場所	議会委員会室	
出席議員	氏名	役割	氏名	役割	氏名	役割
	五十嵐一彦	座長	黒井浩之	司会進行	小野由夫	
	本間信一		渋谷耕一		石塚慶	撮影
	長谷川剛	記録				
欠席議員	なし					
テーマ	観光業の現状及び課題について					
団体等の名称	湯野浜温泉観光協会、湯田川温泉観光協会、由良温泉観光協会、あつみ観光協会、アツクル、DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー				参加者数	10人
実施内容 (概要等)	新型コロナウイルス感染症による影響を一番受けている分野の一つである観光業の皆さんの意見を伺った。 特に現状と課題が浮き彫りになっているか伺った。					

※主な意見及びその回答は、別紙のとおり

令和2年12月8日

鶴岡市議会議長 様

総務・市民文教・厚生・産業建設 班 代表者 五十嵐一彦 印

主な意見等	回 答 等	分 類			
		I	II	III	その他（理由を記載）
湯野浜の現状、10月1日からGoToトラベル開始。加盟しているところは平日も繁盛している。とはいえ終了後は先行きが見えない状況もある。そもそも冬場が誘客弱まる。その後の集客が心配。湯野浜は、海水浴場メインなので感染対策して開設できた。しかし、来年もコロナ続けば、海水浴場の開設続けられるかという心配ある。ワクチンも不明瞭。来夏も対策施していかなければと。先を見越した支援をお願いしたい。			○	○	
早く国・市から動いていただいて有難かった。コロナは終息すると考え先を見越していく。観光の意識も変わっていくと思う。その先をどうするか。市はどういった観光のスタンスを見ていくのか。それが無いと考えていけないし望みがない。明るい展望を。出羽三山にも力を入れることを重点にまちづくりをしていただきたい。			○	○	
湯田川温泉の現状。3月からコロナの影響をうけた。9割減まで。6月以降8件のうち1件は年内休業を決めた。稼働は、6月で52%…7.8割までは戻す。うちの旅館は、満室状態でやっているが、ほかの旅館は感染対策で別室設けるため2部屋使用など頑張っても半分しか行かない旅館も。小さい子もいる宿は気を遣う。うちの旅館で言えば、食事が個室、貸切風呂、部屋に温泉など設備が整っていて予約が好調だった。GoToトラベルの効果ある。しかし、GoToの後にやってほしかった。県の「泊まって応援」などお客様に還元しすぎている。2月から格段に下がる。需要の先食いになってはいないか？				○	

<p>GoTo トラベルで 65～80%まで回復。人員も相当かけている。現在の 70%稼働が 100%に近い態勢だ。急降下しないか不安を持っている。徐々に平常時に持っていけるように支援をいただきたい。</p> <p>あつみ観光協会の活動では、新しい形の観光（上限 2 千万円）実証実験に温海温泉も入った。温泉全体を整備して旅館の外でもくつろいでいただきたい。また、鼠ヶ関でもキャンプ B B Qなどを。漬物体験など温海地域全体で観光を。新年度も予算化して事業化を。いい結果が出れば新しい形の観光ができる。</p>				○
<p>5 月 1 日にアツクルを立ち上げた。あつみ庁舎とタッグを組んで。観光庁の実証実験。庁舎と住民との関係良好だ。民間で出来ない部分も面倒見てもらっているが、移動すると一からにならないか？支所長や伊藤さんから目指す方向を共有していただいている。しかし、支所長が 1 年で移動が続いている。願わくば同じ方と事業を進めたい。</p>			○	
<p>フーデヴァー 1 階の観光案内所は、7 月から再開。8 月お祭りウイーク無く前年対比で落ち込み。9 月に入り、動きは出てきたが 5 0 %に至らず。9 0 0 名のうち 5 割が首都圏。インバウンドは壊滅的。在日の外国人のみ。いろいろな割引への対応に追われている。閑散期の 2 ～ 3 月にどうなるか。団体旅行が落ち込む。</p>		○		
<p>マスク着用、検温安全確認しているが、無症状なので。少しずつ緩和しなければいけないが、どうすればいいか。いつかかってもおかしくない。かかったら何をするのか、管内除菌の費用は持ってくれるのかなど不安ある。</p>		○		

<p>共同浴場は、旅館の客は遠慮してもらっている。接触を控えるようにしている。小さな温泉地なので、車で来るが、ナンバーでわかる。少しずつ地域の人慣れた。病院関係者は旅行を控える。かかっても「お大事にね」と言えるところまでいけばいいが、フォローの部分を公的に支えていただければ。</p>		○			
<p>関東エリアから1割であとは県内から。バスツアーも関東から少しずつでている。20名。怖いなあというのが第一印象。北海道では発熱でも旅行した。内陸の旅館みて明日は我が身。かかってからの風評が。サービス悪くても距離をとっている。</p>		○			
<p>検温、マスク実施しているが、従業員にも警戒するように伝えている。部屋から風呂までマスクを外す人もいる。食事や部屋は知り合い、個室だが、脱衣場、風呂が危険。皆さん元気にしてほしい思いで仕事している。関東からのバスも、東北6県と新潟県。</p>		○			
<p>来年以降は大きい旅館苦しい。固定資産税猶予だが、来年減免なっても今年の支払いがある。7割の売り上げで。今年度の猶予分を減免してほしい。最上町は実施した。県の旅館組合でも要望している。</p>			○		
<p>湯野浜温泉は、来年度の海水浴場の開設が心配。3百万のコロナ対策支援をいただいた。海水浴場ないと天と地の差。庄内全体に経済効果25万人の来場。うち10%しか湯野浜に泊まっていない。観光客がそれだけ地域にお金を落とす。支援のおかげで何とかもっているが、3月4月の支援策「誘客」を考えていきたい。</p>			○	○	

<p>マンパワーが足りない。事務局員がいない。行政との連携がうまく取れていない。補助金の情報も。伴走してくれる方などフォローがあると嬉しい。タケノコ、孟宗。イノシシ獣害が。観光資源の対策を。</p>			○	
<p>白山島の落石事故。H28年に遊歩道の橋が塩害で壊れる。県に要望し海水浴前やっと思えた。県と市の連携がスムーズにいけば。釣り客もたくさん来る。人災の部分も考えてもらいたい。</p>			○	
<p>定員25人の民宿。地域の消防団、老人クなどがメインだがほとんど休んでいる。法事もない。大打撃だ。</p>		○		
<p>いろんな支援、融資をいただいた。しかし、いずれ返さない。しかし、集客は難しい部分も。今までの数字では動かない。「辞め時かな」という旅館もある。後継者に苦勞かけないようにという業者も。新しい鶴岡の観光の望みが欲しい。どんな鶴岡市の観光になっていくか？を提案・提示していただきたい。大きな負債を抱えたままでは「どこまで続けられるのかな」という思いも。出羽三山を大切にさせていただいて、隋神門まで散策できるような観光を。中尊寺のような。かつて、出羽三山が地域を支えてきた。望みが欲しい。自分の感染しない、接客をしている。今のままだと辞めなくなる。キャンペーンについていけない旅館も。支援はありがたいが、その先の望み。</p>			○	○

分類Ⅰ：今後の市議会活動の参考意見とするもの 分類Ⅱ：執行機関に伝えるもの 分類Ⅲ：議会（常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会等）として調査・検討を行い、その対応を明らかにするもの その他：分類Ⅰ～Ⅲ以外のもの（その理由を記載すること）